9月27日（日）
大切な生命・家族・財産を守るために
～伯耆町防災の日　一斉訓練～

伯耆町全域を対象とした避難訓練が、9月27日（日）に実施されました。これは、町民の防災意識の高揚と災害時の迅速な対応を目指して、伯耆町区長協議会が毎年実施しているものです。

当日は、午前8時のサイレンを合図に、町内61集落、3153人が、各集落の指定した避難場所へ避難を開始しました。

リバータウン集落では、リバータウン公民館を避難場所にして、参加した住民は持ち出し品や避難場所までのルートを確認しました。また、消火器を使った消火訓練も実施しました。ほかにも、放水訓練や非常食の試食などを行った集落がありました。

災害はいつ起こるか分かりません。いざというときのために、家族の連絡先や避難場所、持ち出し品などを確認しておきましょう。

▲消防団員から消火器の使い方を教わる住民

9月12日（土）
祝・開館20周年！記念イベント続々
～植田正治写真美術館～

町立植田正治写真美術館は、平成7年9月23日に開館し、今年で満20歳となりました。

これを記念して9月12日（土）、同美術館で記念式典が賑やかに挙行され、関係者約40名が出席しました。当日はお茶席も設けられ、普段とは違う雰囲気でした。

また、9月26日（土）には記念行事として、植田氏がCDジャケットの写真を撮影したこともある、遊佐未森さんのコンサートが開催されました。遊佐さんは、NHK「みんなの歌」でおなじみの『クロ』をはじめ、全11曲を歌いました。県内外から集まったたくさんの聴衆を前に、館内に美しい歌声が響き渡り、感動を呼びました。

同美術館では、11月末まで開館20周年記念展「植田正治の山陰」と題して、撮影地に着目した企画展を開催しています。この機会にぜひご覧ください。

▲記念式典後に設けられたお茶席

▲美しい歌声で感動に包まれた遊佐未森さんコンサート

9月18日（金）
ミニコンビニがオープン！
～日光交流センターで買い物支援～

農家レストラン「日光交流センター山隠れの里」の中に、日用品や食品などを販売するミニコンビニがオープンしました。

日光地区は、伯耆町内で最も少子高齢化の進んだ地域であり、数年前からは商店が1軒もなく、買い物をするにも約10㎞離れた溝口地区へ車で約15分もかけて出かけなくてはなりませんでした。

近くで買い物ができたらという住民の声に応えようと、日光山隠れの里のメンバーが知恵を絞り、約100品目を取りそろえて、9月18日（金）にオープンしました。

オープン当日は、早速買い物をされる方もあり、来場記念として手作りティッシュケースを配布しました。

また、買い物に出かけられない方には家まで品物を届ける宅配サービスも行います。

担当者は、「地区住民の要望を聞きながら、品揃えを充実していきたい」と話していました。

▲いろいろな商品が並びます

▲新鮮な野菜も販売しています

【ミニコンビニの営業案内】　冬期も営業
- 営業日／毎週金・土・日曜日
- 時　間／9：30～16：00
- 品揃え／ゴミ袋・ティッシュ等の日用品
  ラーメン・缶詰等の食品
  お菓子・衣類・農業用品など
- 電　話／57-6530（日光山隠れの里）

9月25日（金）
交通事故死ゼロを目指して
～秋の全国交通安全運動～

秋口は日没時間が急激に早まるため、夕暮れ時や夜間の交通事故が増加します。地域住民の交通ルール遵守と交通マナーの向上を目指し、9月25日、ホック伯耆店前で交通安全運動啓発活動が行われました。

活動に参加したのは、黒坂警察署、鳥取県交通安全協会の日野川地区協会員、江府町および伯耆町の保護者会役員、交通安全指導員、町の担当職員など約30名です。買い物に来られた方に、早めのライト点灯や反射材着用、シートベルト着用など交通安全を呼びかけ、啓発チラシやポケットティッシュ、チューイングガムなどを配布しました。

以下の点を町民一人ひとりが心がけ、事故防止に努めましょう。

▲店頭で買い物客にチラシなどを配布

【運動の基本】
子どもと高齢者の交通事故防止

【運動の重点】
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶